

引地川における付着藻類の自浄作用の解析

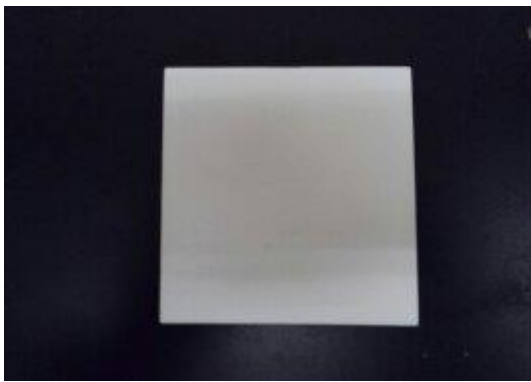
石渡大貴

研究背景

河川中の付着藻類
炭素,窒素,リンを取り込む(自浄作用)
河川の生態系の基盤

使用器具

付着板(10×10cm²)
ワイヤーネット
布テープ
ロープアンカー



研究目的

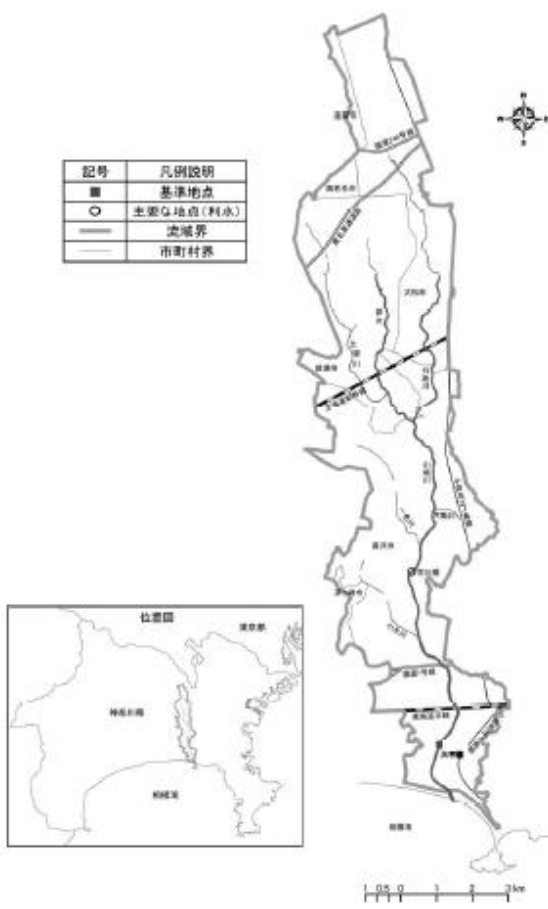
付着藻類の存在量(炭素、窒素、リン)・増減速度を知ることにより、付着藻類が河川水からどの程度、栄養塩(窒素、リン)を除去するかを調べる

調査地点

引地川 (全長21.3km,流域面積67km²)
石川橋 (神奈川県藤沢市石川)下流約100m



設置現場



引地川水系河川整備基本方針より

調査方法

調査地点の河床に付着面(6×6_{cm}²)の付着板を設置、日数経過で回収

付着物をブラシで落とし、ろ過

各測定を行なう



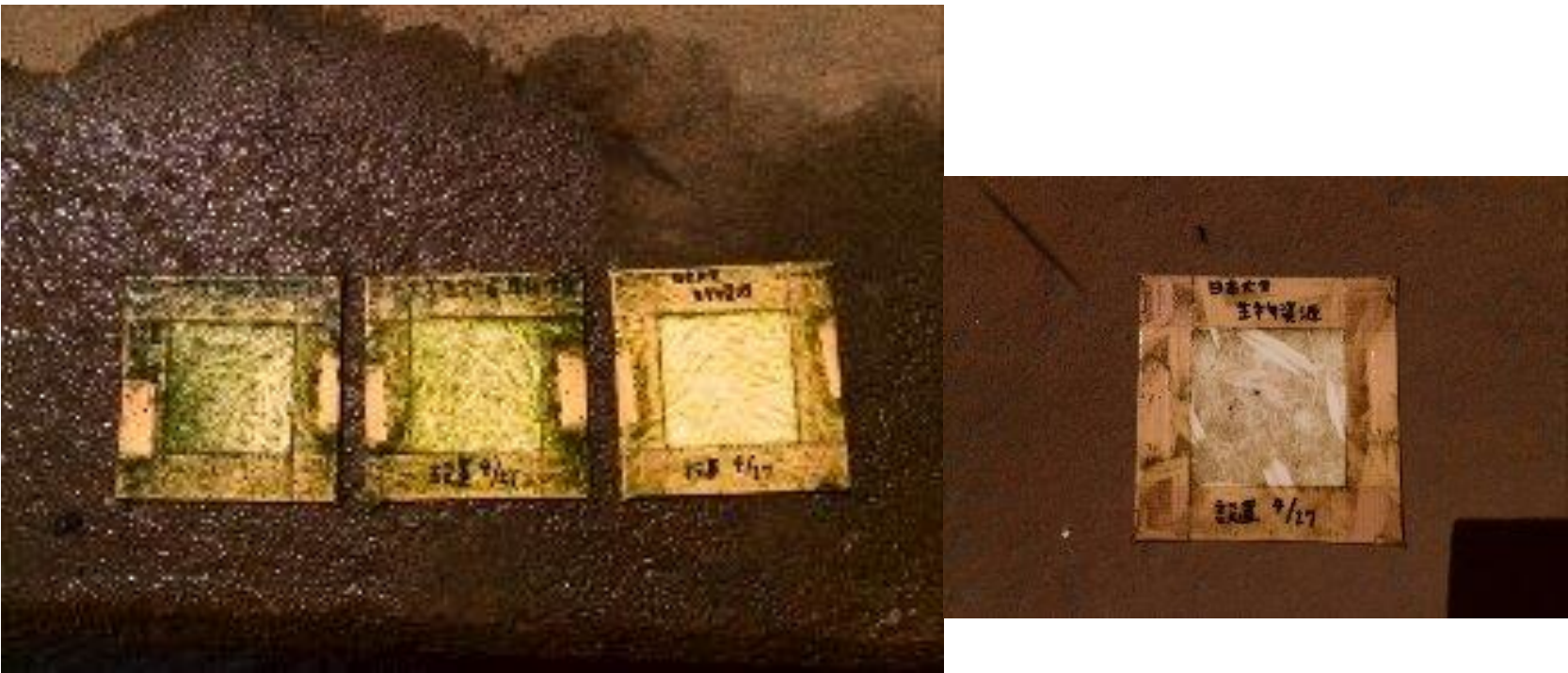
調査日程

第一回調査
2015年4月17日～5月13日
第二回調査
2015年5月14日～6月15日
第三回調査
2015年6月25日～7月6日(予定)

測定項目

付着物(単位面積)	河川(回収時)
乾燥重量	水深
クロロフィルa	流速
全炭素	水温
全窒素	電気伝導度
全リン	

回収日別写真



(左から20日,16日,10日,4日経過)

今後の予定

各調査回ごとに測定を行なう
測定項目別にグラフを作成し、解析する

